177	清水光	（回顧と展望）映画に於ける文芸的要素	『思想』	第84号	1929	697
178		（回顧と展望）映画・モンタァジュ論	『思想』	第90号	1929	
179		（文献と解説）美術演劇映画建築に関する	『思想』	第95号	1930	
180		（回顧と展望）現代舞台装置論	『思想』	第101号	1930	
181		映画と文芸の時間性について	『思想』	第107号	1931	
182		映画・モンタアジュ・理論の諸問題	『思想』	第117号	1932	
183		演劇のトーキー化について	『思想』	第134号	1933	
184		抽象的な形式	『思想』	第137号	1933	
185		演劇にあらはれたアメリカ国民性	『思想』	第188号	1938	
186		クロオズ・アップの発見	『思想』	第212号	1940	
187	清野暢一郎	悲劇と喜劇の関聯	『思想』	第105号	1931	697
188	西田繁	（回顧と展望）封建社会発展の一契機としての「建武中興」運動	『思想』	第103号	1930	697
189		本願寺教団の階級性	『思想』	第106号	1931	
190		軍記物語に現れたる武士階級イデオロギー―武士道批判第１部―	『思想』	第110号	1931	
191	西本喬	ファッシズム理論の一基礎―パレトの社会学に於ける選良循環の法則性―	『思想』	第138号	1933	697
192	青山秀夫	近代資本主義経済の合理性―マックス・ウェーバーに於ける社会主義の問題―	『思想』	第276号	1947	697
193	青山雄作	喀血記	『思想』	第193号	1938	697
194	青木恵一	（回顧と展望）日本農業の特質と農業問題	『思想』	第99号	1930	697
195	石原清子	（世界の学界２）中国の学界	『思想』	第275号	1947	697
196	石津照璽	仏教汎神論の根本立場	『思想』	第115号	1931	697
197		ドイツに於ける宗教哲学の現勢	『思想』	第149号	1934	
198		神と実存との間	『思想』	第239号	1942	
199	千葉雄次郎	イギリスのジャーナリズム	『思想』	第188号	1938	697
200	川崎健二	（回顧と展望）我国に於ける労働者教育の発達	『思想』	第85号	1929	697
201	早水軍平	プロレタリア文化に就て	『思想』	第108号	1931	697
202	早瀬利雄	文明と文化―「技術哲学」以前―	『思想』	第209号	1939	697
203	相内武千雄	（回顧と展望）ヴィットフォーゲルのメーリング批判―ドイツに於けるマルクス主義的文学批評の開拓者として―	『思想』	第98号	1930	697
204		民族防衛の芸術	『思想』	第148号	1934	
205	相澤孝友	ドン・キホーテとイヱス	『思想』	第196号	1938	697
206	川口浩	芸術理論家としてのフランツ・メーリング―マルクス主義美学研究のために―	『思想』	第104号	1921	697
207	蔵内数太	マックス・シエーラーの社会学，特に宗教社会学	『思想』	第104号	1931	697
208	村上仁	精神分裂病の人間学的構造	『思想』	第298号	1949	697
209	村瀬興雄	ドイツ革命について―ドイツの自主的民主化運動試論―	『思想』	第282号	1947	697
210	対馬忠行	マルクス主義と民族問題	『思想』	第300号	1949	697
211	大間知篤三	民間伝承と伝統―婚姻形式を対象として―	『思想』	第179号	1937	697
212	大関将一	ステーィス氏著『ヘーゲルの哲学』を疑ふ	『思想』	第61号	1926	697
213	大橋勉	カント哲学に於ける「自然の合目的性」の概念（上）	『思想』	第35号	1924	697
214		カント哲学に於ける「自然の合目的性」の概念（中）	『思想』	第36号	1924	
215		カント哲学に於ける「自然の合目的性」の概念（下）	『思想』	第37号	1924	
216		人性論的立場(1)	『思想』	第167号	1936	
217		人性論的立場(2)	『思想』	第168号	1936	
218		人間に於ける問の形態(1)	『思想』	第180号	1937	
219		人間に於ける問の形態(2)	『思想』	第181号	1937	
220	大熊泰治	精神病学と現象学	『思想』	第161号	1935	697
221	大和資雄	漱石の文学論と「明暗」	『思想』	第162号	1935	697
222	大澤峯雄	人間と機械	『思想』	第226号	1941	697